



がん検診の無料クーポン券を送付します

市内では約3人に1人ががんで亡くなっています。早期発見のため、下記対象者に子宮頸がん・乳がん検診、大腸がん検診の無料クーポン券を送付しますので、ぜひ受診しましょう。詳しくは同封の検診手帳をご覧ください。(クーポンは事前申し込み不要)

■送付時期

7月中旬以降。(大腸がん検診は年内に本誌およびHPで送付時期をお知らせします)

■対象

平成23年4月20日時点で札幌市に住民登録・外国人登録のある女性(大腸がん検診は男性も)で下表に該当する方



	生年月日	年齢
子宮頸がん検診	H2年4月2日～H3年4月1日	20歳
	S60年4月2日～S61年4月1日	25歳
	S55年4月2日～S56年4月1日	30歳
	S50年4月2日～S51年4月1日	35歳
	S45年4月2日～S46年4月1日	40歳
大腸がん検診	S45年4月2日～S46年4月1日	40歳
	S40年4月2日～S41年4月1日	45歳
	S35年4月2日～S36年4月1日	50歳
	S30年4月2日～S31年4月1日	55歳
	S25年4月2日～S26年4月1日	60歳

※年齢は23年4月1日時点

☎市コールセンター ☎222-4894

HP www.city.sapporo.jp/hokenjo/f9sonota/coupon.html

東日本大震災の現場から

3月11日に発生した東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。ここでは、被災地に派遣され支援活動を行った職員からのレポートを通じて、現地の様子、防災のポイントを紹介していきます。



がれきと砂に覆われた中から水道栓を捜し出していく。

派遣された職員

東区保険年金課
筒井 康介さん
活動期間4/29～5/6
活動場所岩手県大船渡市
大船渡地区、末崎地区など



水道復旧のため、津波により流出・損壊して住めなくなった家の水道栓を捜して止める作業を行いました。被災した家の栓を止めなければ、通水時にあちこちから水が噴き出してしまうのです。無事に通水でき安心しましたが、被災者の「水がなければ生きられない」という切実な訴えが胸に突き刺さっており、札幌に戻った今も被災地のためにできることを考えています。



派遣された筒井さん。水道復旧作業のほか、配水車への給水にも携わった。

災害に備えて



水分を取らなければ人は生きていけません。災害時に備え、1人1日3ℓを目安に、最低3日分の水を用意しましょう。また、給水用のタンクも準備しておくとう安心です。

防災に関するお問い合わせは 危機管理対策課 ☎211-3062

市議会の動き

第2回臨時会

可決された議案

平成23年度札幌市一般会計補正予算など計6件の議案を可決しました。

可決された意見書

○観光推進による被災地の復興支援と日本経済の振興に関する意見書

可決された決議

○大都市行財政制度調査特別委員会設置の決議

○経済雇用対策・新幹線等調査特別委員会設置の決議

○災害・雪対策調査特別委員会設置の決議

委員会
委員会の主な活動状況

総務委員会 (5月11日～6月10日)

5月26日(仮称)札幌市まちづくり戦略ビジョン「策定に当たっての基本方針について、市長政策室から説明を受け、質疑を行いました。」

財政市民委員会

5月19日(仮称)札幌市再発防止に向けた改善策につ

平成23年度 常任委員会委員名簿

委員会	総務	財政市民	文教	厚生	建設	経済
委員長	よこやま峰子	三宅由美	國安政典	飯島弘之	佐々木みつこ	峯廻紀昌
副委員長	長谷川衛	北村光一郎	伊藤理智子	山口かずさ	福田浩太郎	小竹知子
委員	鈴木健雄 五十嵐徳美	武市憲一 こんどう和雄	宮村素子 山田一仁	長内直也 小須田悟士	勝木勇人 村松正海	高橋克朋 村山秀哉
	阿部ひであき 畑瀬幸二	細川正人 宗形雅俊	こじまゆみ 猪熊輝夫	伊与部年男 大嶋 薫	伴 良隆 小野正美	川田ただひさ 川口谷正
	小川直人 林 清治	西村茂樹 ふじわら広昭	林家とんでん平 村上ゆうこ	しの江里子 涌井国夫	桑原 透 中村たけし	福士 勝 恩村一郎
	本郷俊史 谷沢俊一	宝本英明 小形香織	三浦英三 石川佐和子	丸山秀樹 坂本恭子	阿知良寛美 井上ひさ子	植松ひろこ 芦原 進
	宮川 潤 伊藤牧子		堀川素人	小倉菜穂子	松浦 忠	金子やすゆき

いて、財政局から報告を受け、質疑を行いました。(21) 3 1 6 4